

平成26年度第1回福岡市地域包括支援センター運営協議会議事録

【要旨】

- 1 開催日時 平成26年7月7日（月）13時00分から15時00分
- 2 開催場所 福岡市役所3階 302会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 会議次第

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 開会2 協議事項<ol style="list-style-type: none">(1) 地域包括支援センター受託法人の選定について（非公開）(2) 指定介護予防支援業務の居宅介護支援事業者への一部委託について3 報告事項<ol style="list-style-type: none">(1) 平成25年度の相談状況について（市全体）(2) 平成25年度の事業報告について（センター別）(3) 平成25年度の収支決算について（法人別）(4) 平成26年度の事業計画について（センター別）(5) 平成26年度の収支予算について（法人別）4 その他5 閉会 |
|--|

5 会議経過

協議事項（1）地域包括支援センター受託法人の選定について（非公開）

協議事項（2）指定介護予防支援業務の居宅介護支援業者への一部委託について

事務局	指定介護予防支援業務の居宅介護支援業者への一部委託について説明。
委員	指定介護予防支援業務の居宅介護支援業者への一部委託について承認。

報告事項 (1) 平成 25 年度の相談状況について (市全体)

事務局	平成 25 年度の相談状況について報告。
委員	ケアカンファレンス開催回数には、どのような主旨の会議が含まれているのか。介護予防の担当者会議等も含むのか。また、困難事例についての会議も含むのか。
事務局	ケアカンファレンス開催回数には、原則として三者以上が参加し、今後の支援方針の検討を行ったものを記載。困難事例についての個別会議も含まれている。処遇困難事例進捗管理会議は、月に 1 回開催されているが、この会議はケアカンファレンスではなく活動で計上されている。各区保健福祉センターより関係課（福祉介護保険課や保護課等）が参加し、検討を行っている。
委員	ケアカンファレンスという言葉が様々なところで使用され、色々な種類のものがあるため、今後は言葉の意味を整理したうえで提示いただけるとその中身が分かりやすいと思う。
事務局	来年度は、地域ケア会議についてきちんとした位置づけを行ったうえで取り組んでいきたいと考えており、現在整理を進めている。
委員	金融・消費・契約問題については、今後もセンターが行う権利擁護業務の一部と捉えていくのか。それとも見守りネットワーク等が別途構築され、そちらで対応や議論をすることになるのか。
事務局	センターは引き続き関係部署と連携して対応していく。
委員	相談件数は増加しているとのことだが、何人体制で相談対応を行っているのか。
事務局	全市 156 人で対応している。
委員	権利擁護に関する相談対応状況の金銭管理という項目には、どのような対応が含まれているのか。
事務局	成年後見人制度や日常生活自立支援事業の利用につないだ事例等を含んでいる。
委員	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の活動実績のうち、介護支援専門員との同行訪問は、どのような方法で行っているのか。センターが率先して訪問・介入しているのか、それとも基本は介護支援専門員に任せセンターは助言や見守り程度に留めているのか。
事務局	いずれの場合もあり、個々の状況に応じて判断している。

報告事項 (2) 平成 25 年度の事業報告 (センター別)

(3) 平成 25 年度の収支決算 (法人別)

事務局	平成 25 年度の事業報告, 平成 25 年度の収支決算について説明。
委員	虐待関係で緊急対応を行った事例等で, センターや行政が連携対応・協議した具体例があればご教示いただきたい。
事務局	各区で開催している困難事例進捗会議にて報告を受けた事例としては, 認知症の方が虐待を受けているが, 虐待している養護者に精神疾患があり, また本人と養護者が共依存の関係にあるため, 解決に時間を要するといったケースがあった。関係者が連携して対応をしている。困難事案件数自体は減少傾向にあるが, 個々のケースの問題が複雑化しており, 解決に向けて連携強化の必要性がより一層高まっている。
委員	自分が民生委員をしており, センターに相談をする機会が多い。センター事務所の移転に伴い, センターが地域から遠くなった。センター職員はいつも遠くから自転車で駆け付けてくれている。虐待疑いがあるケース等で支援を拒否される家族も多いが, センター職員は根気強く何度も対応し関係を築いておられる。ひとつの相談に長時間要することも多い。現在の人員体制で運営していけるのだろうか, 職員数を増やして欲しいと感じている。 来年度からは土曜日も開設と伺っているため, センター職員が疲弊してしまい, 従事する職員が減少してしまうのではないかと感じている。 センターが地域に溶け込み始めていると実感しており, 今後より活躍を求められる部署であると思っているため, 大切に考えて欲しい問題だと感じている。
委員	土曜日開設は良いことだと思うが, センター職員には育児中の方も多いため, 今後どのように人員確保をしていくのかについて不安を感じている。
事務局	来年度からの事業報告の方法について, 検討したい。運営協議会にてどのような部分を評価するのか。前年度にセンターが苦勞した点や特に力を入れて取り組んだトピックが分かりやすく協議会にて報告できるよう, 活動内容を理解いただきやすい報告の仕方に改善したいと考えている。具体案については, 次回 2 月の協議会にて提案させていただきたい。
委員	事業報告書 (センター毎) の相談内容内訳に記載の「クレーム」と相談状況 (市全体) の困難事例に関する相談状況の困難要素「クレーマー」の数字が違うのは何故か。内容が異なるのか。
事務局	事業報告書 (センター毎) に記載のクレームはセンターに対するクレーム数, 相談状況 (市全体) に記載のクレーマーはセンターのみではなく, サービス事業者や制度に対するもの等も含まれている。

報告事項 (4) 平成 26 年度の事業計画について (センター別)

(5) 平成 26 年度の収支予算について (法人別)

事務局	平成 26 年度の事業計画, 平成 26 年度の収支予算について説明。
委員	清風会の収支予算は, 人件費だけでも委託料を超えているが何故か。1 センターのみでの運営であることや運営方法が関係しているのか。
事務局	市からは職員 3 名体制で委託しているが, 清風会が独自で職員を 4 名配置されているため。

その他

委員	センターの公正中立性をどのように市民に伝えていくのか。委託業務のみならず, 予防給付についても公正中立が保たれているかをチェックする場を設け, チェック機能, 評価方法を確立する必要がある。 来年度から土曜日も開設するとのことで一歩前進したと思うが, 利用者の立場からすれば, 365 日センターへ相談可能な体制を整えることは当然のことだと思う。ご検討いただきたい。
事務局	予防給付に関して, 公正中立性をどのようにチェックしていくかについては, 今後も検討していきたい。365 日・24 時間対応の体制整備は容易ではないが, 地域包括ケアシステムの構築には非常に大切な点と考えており, 行政や他の団体とともに検討を行っているところ。しっかりと取り組んでいきたいと考えている。
委員	来年度からの新規法人への委託に伴い, センター職員の質の担保を行うことがさらに重要になってくる。人材育成については, 法人任せにすることなく, 市や運営協議会等にて研修体系を整えるなど, 今後検討すべき課題になると考えている。
事務局	本日, 平成 27 年度以降の地域包括支援センター業務の委託法人 (候補者) が決定したため, 来年 4 月 1 日の開設に向け, 事務所設置や引き継ぎ等の準備を滞りなく進めていきたい。